



図書館だより

2022年
5月27日発行

秋草学園高等学校 図書館

大型連休から始まった5月もあと少し。新しい学年になって初めての定期考査が終わり、次は体育大会に向けて忙しく過ごしているでしょうか。3年ぶりに全校生徒が6つの団に分かれ、競うこととなります。当日は熱戦が繰り広げられると思いますが、体調管理をしっかりといながら、それぞれの競技に挑んでください。体だけでなく、心も疲労が溜まりやすい時期です。気分が晴れなかつたり、心が疲れたなと感じた時は無理せず休憩したり、気分転換になるものを見つけたりしてみましょう。本も心の栄養になるものの1つです。図書館で元気をチャージしてください。

疲れを感じた心に栄養補給

●哲学者アランの言葉から幸せを探してみよう

B151-7 『キキ&ララの「幸福論」』
朝日文庫編集部 || 編 朝日新聞出版

世界の三大幸福論の1つとされるアランの『幸福論』いきなり原作を読むのはハードルが高いですが、この本は『幸福論』のエッセンスをキキとララがシンプルな言葉で語りかけ、目の前にある幸せを思い出させてくれます。物事の捉え方を変え、日々の中で幸せを感じる瞬間を増やしてみましょう。可愛い挿絵にも癒し効果あり。

まずは、自分が幸せになれるって信じてみることに。(本文より)



●たくさんの笑顔があなたのことも笑顔にしてくれる

290-1 『じゃ、また世界のどこかで』
近藤 大真 || 著 KADOKAWA

「世界中の人と出会って、その人たちの笑顔撮りたい」という思いを胸に世界一周の旅へ出発した著者の近藤さん。飛行機を乗り過ごしたり、交通事故に合ったり、全財産が248円になったりと数えきれないアクシデントと引き換えに、たくさんの笑顔と素晴らしい絶景に出会った1年半の記録。笑顔の力を感じる1冊。

●自分の「心」を知って、自分を助けてあげよう

498-キ 『しんどい心にさようなら』
きい || 著 ゆうきゆう || 監修 KADOKAWA

気にしすぎてしまう、考えすぎてしまう、自分を好きになれない、周りになじめない、色々な悩みを抱えている人がいます。そんな人たちが今の自分でも大丈夫と安心したり、今までとは考え方を変えるヒントを得たりできる本です。「たぬ」という登場キャラクターがしんどい心によく効く優しい言葉をかけてくれます。

熱い青春を本でも楽しもう

913.6-7 『チア男子』

朝井 リョウ || 著 集英社

チアリーディング=女子のスポーツというイメージですが、この物語の主人公は男子7人。彼らはできたばかりのチアチーム BREAKERS のメンバー。男子だけ、しかも全員が初心者、そして個性派ぞろい。様々な思いを抱えてチアを始めた7人を待つのはどんな青春か!?

913.6-9 『君と漕ぐ ながとろ高校カヌー部』

武田 綾乃 || 著 新潮社

ながとろ高校カヌー部は女子4人だけの小さな部。4人が挑んでいるのはカヌースプリントという日本では未だマイナーなスポーツ。技術の伸び悩み、仲間との衝突、ライバルの存在、いくつもの壁を乗り越え、進んでいく。彼女たちの熱戦を通してカヌー競技の魅力が伝わってきます。

新着コーナーの気になる本

598-ハ 『ぼくが13人の人生を生きるには身体がたりない。』 haru || 著 河出書房新社

解離性同一性障害はかつて多重人格障害と呼ばれていた神経症。筆者の haru さんはその当事者であり、haru さんの中には年齢も性別も性格も様々な13人の人格が存在します。主人格 haru のこと、他の人格との交流、日常の送り方などが詳細に綴られています。

913.6-7 『ルームメイトと謎解きを』

楠谷 佑 || 著 ポプラ社

雛太が寮生活を送るあすなろ館は、ある事件を機に寮生が激減する。そんなあすなろ館へ新たな寮生が加わるが、これがまたかなりの変わり者。第一印象は最悪だったが、次第に打ち解け、いいコンビとなった雛太と彼は過去の事件に潜んだ闇を暴いていく。

司書の今月はこの本読みました

新潟で春の山菜を摘んできたお話を聞かせていただきました。ワラビ、フキ、コゴミ、そしてイラクサ。イラクサ?! それって童話「野の白鳥」(昔読んだのは「白鳥の王子」でした)で、魔法を解く為、服に編んだ草ですよ?日本にも自生しているのですか?美味しいのですか?(エリサは、華奢な手を、にくりしいイラクサの中に突っ込みました。それはまるで火のようでした。手や腕に大きな火ぶくれができました。~) B949.7-7 『完訳アンデルセン童話集1』 岩波 こんなに痛そうなのに、日本では茹でて食べていたとは、驚きです。【鈴木】